

令和3年度赤十字ポスターコンクール

～たくさんのご応募ありがとうございました!～

日本赤十字社兵庫県支部では毎年、兵庫県内の小・中・高・特別支援学校を対象に「赤十字ポスターコンクール」を実施しており、今年度は63校から442作品の応募がありました。すばらしい力作の数々に、審査員の先生方も頭を悩ませながら選考していただき、39作品が入賞しました。ここでは優秀賞の5作品をご紹介します。



優秀賞 種村 彰斗
神戸市立井吹西小学校 4年



最優秀賞 安積 璃緒
兵庫県立龍野北高等学校 3年



優秀賞 柴田 涼葉
姫路市立広畑中学校 2年



優秀賞 小林 美月
兵庫県立姫路工業高等学校 1年



優秀賞 岩佐 桜星
兵庫県立姫路聴覚特別支援学校 小学部5年



受賞作品および展示予定については、当支部ホームページでご覧いただけます♪

いのちと健康を守る赤十字活動は
皆さまから寄せいただく活動資金で成り立っています。
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
〒 口座記号番号:01110-0-1136
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

お知らせ

「NHK海外たすけあい」キャンペーン 12月1日～12月25日

日本赤十字社では、12月1日から25日まで「NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施します。世界各地で紛争や自然災害、飢餓、病気などで命の危機に直面している人々を救うため、日赤が毎年NHKと共同で実施しているキャンペーンです。第39回目となる今回は、「感染症から誰も取り残さない。」をメインテーマに国際事業を展開する予定です。皆さまの温かいご協力、よろしくお願いいたします!



オンラインで学べる赤十字講習会のご案内

オンライン講習タイトル	内容	開催日	時間
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	11月26日(金)	10:30～11:30
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	11月26日(金)	14:00～15:00
ちょっと知ってみたい。認知症 ☆	【健康生活支援講習】地域で支える認知症	12月9日(木)	10:30～11:30
みんなで学ぼう応急手当	【救急法】きずの手当	12月9日(木)	14:00～15:00
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	12月21日(火)	10:30～11:30
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	12月21日(火)	14:00～15:00
今、考えようよ自分の健康☆	【健康生活支援講習】健康な高齢者をめざして	1月12日(水)	10:30～11:30
知っておきたい!急病・手当の基本☆	【救急法】急病の手当	1月12日(水)	14:00～15:00

☆印の講習は講義のみです。それ以外は実技を含みます。

※企業や各種団体でも赤十字オンライン講習にお申込みいただけます。必要に応じて上記日程以外でも開催することができますので、当支部救護課講習係にご連絡いただき、社内研修等にご活用ください。

申込み

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/online/>

対面式での講習については、支部ホームページをご確認ください

講習についての最新情報につきましては、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認くださいかお電話にてお問い合わせください。

講習に関するお問い合わせ

Tel.078-241-1499

ホームページ(講習のページ)

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/>

遺言・相続財産・お香典でのご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に答えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課)まで

※隔月(奇数月)に発行しています。

日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区臨海通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字 11月号 [2021年11月1日発行]

Japanese Red Cross Society Hyogo Chapter

ひょうごの 赤十字+

2021

11

■ ホームページ
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>
■ インスタグラム
https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/
■ Facebook
<https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>



支部長就任のご挨拶



日本赤十字社兵庫県支部
支部長(兵庫県知事)

齋藤元彦

このたび、日本赤十字社兵庫県支部支部長に就任しました兵庫県知事の齋藤元彦です。日頃から、赤十字の活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。新型コロナウイルス感染症との闘いが続いておりますが、兵庫県支部ではこれまで培った経験や教訓を活かしながら、医療活動や災害救護活動をはじめ、健康で安全安心な社会の実現に向けた取組を全力で進めてまいります。

皆様には変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【齋藤元彦支部長の略歴】

昭和52年、神戸市須磨区生まれ。平成14年に総務省入省後、新潟県佐渡市、福島県飯舘村、宮城県、総務省自治税務局、大阪府を経て、令和3年8月、兵庫県知事に就任。



新型コロナウイルス感染症広域派遣にて神戸赤十字病院看護師2名を沖縄県の医療機関へ派遣

- 新支部長(齋藤元彦兵庫県知事) 就任のご挨拶
- 神戸赤十字病院から沖縄へ 新型コロナウイルス感染症の広域派遣
- 救急法インスタライブを開催 ● 地域赤十字奉仕団員研修会を開催
- 兵庫県花弁協会様ご寄贈の「シンテッポウユリ」を献血者の皆さまへプレゼントしました
- 赤十字ポスターコンクールへのご応募ありがとうございました!



新型コロナウイルス感染症の広域派遣

— 神戸赤十字病院から沖縄県での2度にわたる活動 —

新型コロナウイルス感染症の医療体制確保のため、厚生労働省から日本赤十字社が依頼を受けて、神戸赤十字病院から私たち2名が派遣されました。私たちは、世界で猛威を奮っている新型コロナウイルスの感染拡大を災害と捉えています。そこで、日本赤十字社の一員として、沖縄における新型コロナウイルスの感染症患者対応のために派遣業務を実践してきたことや学びをご報告いたします。



神戸赤十字病院 看護係長 廣田 奈津子

7月1日～15日まで、厚生労働省要請による広域派遣で、沖縄県の病院へ行ってきました。この期間はちょうど新型コロナウイルス感染症の第4波で、沖縄県の緊急事態宣言が延長された時期でした。この病院では、沖縄県の約7割の新型コロナウイルス感染症患者を受け入れていました。私が派遣されたのは重症・中等症混在病棟で、その時に入院されていた患者さんは9名前後で、ECMOや人工呼吸器を装着されている患者さんがほとんどでした。私以外にも熊本や横浜から派遣で来た看護師がおり、病院スタッフとともに看護業務にあたりました。新型コロナウイルス感染症が重症化してしまうと、快方に向かうには時間がかかります。少しでも呼吸状態を改善させるために、効果的だと言われている腹臥位（うつ伏せ）療法を、人工呼吸器装着患者さんに医師・看護師5人がかりで行いました。派遣中に感じたことは、『重症化させないこと』が大事だということです。私は現在、新型コロナウイルス感染症専用病棟で勤務しています。軽症・中等症でも早期に腹臥位療法やリハビリをスタッフと取り組み、派遣の経験を活かしながら、看護を行ってまいります。



神戸赤十字病院 看護係長 吉村 宙

私の派遣期間は、8月16日～31日の16日間でした。派遣先の新型コロナウイルス重症病棟の看護スタッフは、魅力的な方々で有機的なチームとして機能していました。私は、この派遣の現場を通じて、看護管理者と看護実践者として、有機的なチームの中で共に看護を実践することで以下のことを学ぶことができました。人材育成における部署のミッションの共有と承認の重要性です。ミッション（使命感）は、部署や個人の目標を生みます。そして、目標はモチベーション（やる気）の維持に繋がります。また、承認は人材育成において相互関係および相互作用を活性化させます。さらに、相互の影響が心理的な安全に繋がりを、より良い教育および成長を促進させる因子となります。



2020年から続く新型コロナウイルスの感染拡大は、災害級です。赤十字看護師として、災害救護を学ぶことや日々の看護実践やチーム医療、対人関係などを実践することは、広域派遣・支援における臨床医療・看護の備えになることを実感いたしました。

地域の皆様には、ご支援や温かい応援メッセージをいただき、感謝申し上げます。



World First Aid Day 2021(世界救急法の日) キャンペーンイベントでインスタライブに挑戦!



例年、心肺蘇生やAEDの使い方、きずの手当など赤十字救急法により多くの方に触れていただくため、各地で体験型のイベントを開催してきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を最優先とするため、コロナ禍でも安心な新しい方法として、World First Aid Day 2021キャンペーンイベントを支部公式インスタグラムでライブ配信することにチャレンジしました。



今回は救急法指導員（渡邊指導員・小池指導員・川村指導員・北村指導員）と今まさに救急法指導員の養成講習を受講している若手職員（宮浦主事・小松主事）の6名で試行錯誤を繰り返し、カメラと出演者の向きや照明の調整、傷病者役の人形の腕やその他の小道具を手作りする等、様々な準備を進めてきました。



▲渡邊指導員がポイントを解説

「心肺蘇生とAEDの使い方」

一次救命処置の流れを宮浦主事と小松主事がデモンストレーションで実演し、渡邊指導員がポイントを解説しました。



▲一次救命処置のデモンストレーション



▲「〇×クイズ」を交えて解説

「三角巾を使ったきずの手当」

前編では、川村指導員がクイズを交えながらきずの手当について解説し、三角巾を使った包帯法の基本的な内容をご紹介しました。後編では、小池指導員が骨折の手当、そして身の回りにあるものを利用しての手当をご紹介しました。



▲レジ袋を使った腕の吊り

ライブ配信の事前の告知を9月6日に開始してから、インスタグラムでリハーサル風景を紹介したり、本番の9月26日にライブ配信をしたり、またその動画を後でホームページやSNSでも見ていただけるようにしたことで、たくさんの方に見ていただくことができました。まだご覧になっていない方は、ぜひチェックしてみてください。

地域赤十字奉仕団員研修会を開催

毎年秋に実施している地域赤十字奉仕団員研修会が始まりました。今年度は、10月4日(月)から11月30日(火)まで、県内13会場(14奉仕団)で開催します。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、災害への備え(講義)と点字体験などが予定されています。

点字体験では、兵庫県声の図書赤十字奉仕団から講師を派遣していただき、日常生活にある身近な点字の紹介を含めた講義を受けた後、実際に点字器と点筆を使って、参加者自身の名前を打ちました。参加者からは、「エレベーターや電化製品のボタンに点字があるのは気付かなかった」、「点字の基礎を知ることができたので、少しでも視覚障害者の方に寄り添うことができれば」、「次回はガイドヘルプを体験してみたい」といった感想がありました。



▲講義する兵庫県声の図書赤十字奉仕団員



10月10日 献血者へ兵庫県花卉協会様ご寄贈の「シンテッポウユリ」をプレゼント

兵庫県花卉協会様には、平成5年からの長きにわたり「母の日」に合わせたカーネーションをご寄贈いただいておりますが、コロナ禍以降は献血者が減少する時期に季節の花(今年は6月にカーネーション、7月にトルコギキョウ)をご寄贈いただいております。

10月10日(日)は、神戸が誇る美しい花「シンテッポウユリ(淡河のユリ)」を兵庫県内6カ所の献血ルームに500本ご寄贈いただき、献血者の皆さまにお渡しいたしました。献血者の皆さまに大変喜んでいただけた1日となりました。

